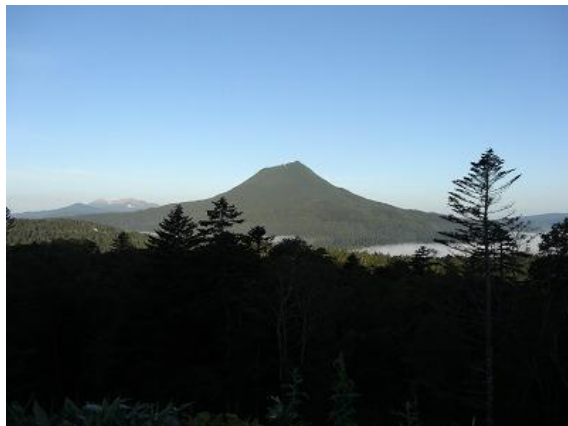


● 8月12日(金) 晴 雄阿寒岳(1370.5 m)

○ 晴天の雄阿寒岳に登った。今回は前回見えなかったペンケトー、パンケトーもはっきり見えた。

・朝4時半起床。外は霧でいっぱい。朝の支度をすませ4時50分に道の駅「摩周温泉」を出発、国道241号線を阿寒湖方面へ向け西走する。

車は全く走っていないので快走。双岳台を超える頃には霧もすっかり晴れ目の前に雄阿寒岳がその左奥に雌阿寒岳がくっきりと姿を見せてくれた。



・5時半過ぎに登山口駐車スペースに到着したが、すでに2台車が止まっている。登山の準備をしていると国分寺から来たという年配の方が女性に車で送られてやってきた。どんな関係かな？

・5時50分その国分寺のおじさんと一緒に歩き出すこととなった。あまり会話は無いがしばらく一緒に歩いた。太郎湖、二郎湖の湖畔の森の中をしばらく歩き二合目から三合目は森林の中を登坂、この辺りにはイチヤクソウやアリドオシランやコイチヨウラン等が見られ、写真を撮りながらのんびり登ったので国分寺のおじさんとは分かれ先に行ってもらった。四合目から五合目は長い急坂でとにかくきつい区間だった。



コイチヨウラン



・五合目からは森も浅くなり空が見えてくる。今朝は雲一つない快晴だったので今日は一日天気には心配ないと思っていたが、空を見上げると何やら嫌な雲が見える。花を撮りながらのんびり歩いていたが、先を急がないと雲がかかると、少々焦った。登るにつれて木々が無くなり六合目からはガシ場となり展望が開けた。足元に阿寒湖、湖の向こうには前にフップシ岳を従えた雌阿寒岳が赤い山肌をさらけ出して聳えている。絶景が開け疲れを忘れる。



八合目には「雄阿寒岳気象測候所跡」の標識があり、平らな広場で、目の前に山頂が見える。昔はここに気象測候所があったのか。



- ・山頂に 9:45 着いた。
幸いにもまだ雲が高く景色が美しく展開している。

足元には阿寒湖をはじめ念願だった パンケトー、パンケトー がはっきりと見える。



阿寒湖と雌阿寒岳



パンケトー



パンケトー

- ・雲がどんどん湧いてきてパンケトー、パンケトーをも隠すようになってきた。
早く登って来て良かったな。山頂で 15 分くらい景色を楽しんでから下山した。

・下る途中の楽しみは森の中に咲く色々な珍しい花だ。
コバノイチヤクソウ、アリドオシラン、ホソバノキソチドリ、ミヤマウズラ、コイチヨウランなど珍しい花が山盛りで時間を忘れて写真を撮りながら下った。



アリドオシラン



ミヤマウズラ



コイチヨウラン

・太郎湖、二郎湖の美しいせせらぎの横を歩いて、13時半に登山口に到着、往復7時間半もかかったぜ。けっこう登りでのある山だったな。



・暑くて天気が良かったので全身汗まみれだ。とにかく風呂へ入りたい。明日までは天気が続くらしいので明日はアポイ岳へ登ってしまいたい。今日中になるべく西の方へ行っておきたい。と云うことで今日の宿泊地を道の駅「しほろ温泉」と決めた。毎年泊まっているので勝手は十分承知だ。

・国道 241 号線を、足寄を通り土幌へ向けて西走、16 時過ぎに泊まり慣れた道の駅「しほろ温泉」に着いた。相変わらず車が多いな。勝手知ったこの駅、まず洗濯しようと洗濯物をバケツに入れて道の向こうの公園へ行った。なんと！ いつも使っていた水道が完全に水が出なくしてある。そうだよ、勝手に炊事・洗濯に使われたんじゃないかな。よく今まで使わせていただけたと納得してバケツの洗濯物を持ち帰った。それにしても水場が無くなったらこの駅はもうあまり魅力ないな。北海道を車で旅して 10 年になるがどんどん様変わりして、だんだんつまらなくなってきた。

・ゆっくり温泉に浸かって疲れを癒し、夕食をとり、明日は早立ちなので早く寝ようと思ったら、私の左隣りに止まっている広島と大阪の車の 2 夫婦が宴会を始めて大騒ぎ、うるさくて寝られない。仕方ないので静かな所へ車を移動して寝た。最近はこういう輩が増えて来て北海道もつまらなくなった。

明日の朝はアポイ岳登山口まで 200km 近く走らなければならない。
明朝は4時起きだ！